

自分たちが得をした事件のことを書こう。

5月の終わりから6月にかけて、南アルプス南部、駿ノ段から荒川三山、赤石岳を縦走したときの話だ。その年は冬から春の降雪が

雪山チキ



イラスト・熊谷博人氏

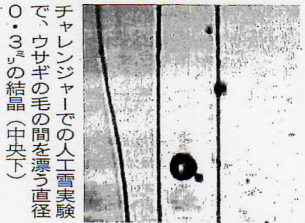
「雪山チキ」は、その夜のパーティーは腹一杯飲み食いし、全員が上機嫌で寝に就いた。こんなこともあるのだ。(ついでに、2014) 山居真家

忍野八海 意味づけは

文化・信仰…明確化が課題

世界の富士山

東山寺住職の鷹野慈誠さん(69)と面会した上宮田さんは「富士山の水は、長い年月をかけて濾過されるか



宇宙の人工雪 宇宙を飛ぶ米スペースシャトル内で1983年9月、高さ約10センチの銅製の装置で水蒸気を出しファンを回すと、直径約0.3ミリの結晶が現れた。東京理科大学大教授の解析で、六方対称の結晶面が確認された。

宇宙実験参画 話題 乏しい歴史上の説明

富士山の世界文化遺産で構成資産の忍野八海。1983年、八海の水を宇宙に運び、雪をつくる実験が行われた。水を含んだNBCの元技師が今月24日、八海の歴史を伝承する忍野村の東円寺に任職を訪ね、文化遺産としての課題を語り合った。



湧池の古い写真を見ながら語り合う上宮田四男さん(左)と鷹野慈誠さん(右)忍野村の東円寺。宇宙で雪になる水を含んだ湧池のほとりに立つ上宮田四男さん(左)と鷹野村

「八海には信仰の証拠が残っている。現代には水が宇宙に行った。この歴史を次の世代へ伝えたい」と鷹野さんは語る。(村野英二)

東円寺を訪れたのは、上宮田四男さん(69)。82年7月に忍野八海の湧池の水をくみ、米フロリダ州のケネディ宇宙センターに運んだ。朝日新聞社の企画でNBCが設計した人工雪実験装置にこの水を含ませ、83年9月、宇宙を飛ぶスペースシャトル・チャレンジャー内で「宇宙の初雪」が撮影された。六方対称の結晶面が確認された。

鷹野さんは「昨年9月、世界文化遺産の調査に来たイコモス(国際記念物遺跡会議)の専門家たちに「北斗七星の形の池からくんだ水が宇宙で雪の結晶になった」と説明したという。

鷹野さんは「イコモスの調査員は『ワンダフル』と言った。これで八海は文化遺産の構成資産になると思った」。上宮田さんは「私は湧池へ導かれたんでしょ。お役に立ったことが感慨深い」と話した。

鷹野さんは「イコモスの調査員は『ワンダフル』と言った。これで八海は文化遺産の構成資産になると思った」。上宮田さんは「私は湧池へ導かれたんでしょ。お役に立ったことが感慨深い」と話した。

鷹野さんは「イコモスの調査員は『ワンダフル』と言った。これで八海は文化遺産の構成資産になると思った」。上宮田さんは「私は湧池へ導かれたんでしょ。お役に立ったことが感慨深い」と話した。